

附属病院／集中治療部

1. 領域構成教職員・在職期間

部長（併）	重見 研司	平成18年4月～ 昭和62年4月～平成5年9月、平成17年7月～平成18年3月、平成27年8月
講師	藤林 哲男	平成12年9月～平成18年3月、平成18年10月～平成27年10月
講師	安田 善一	平成27年11月～
助教	北村 倫子	平成26年4月～
助教	小畑 友里江	平成27年4月～
特命助教	齊藤 律子	平成26年4月～
特命助教	佐上 祐介	平成26年4月～

2. 研究概要

研究概要

●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

急性期の重症患者に対する栄養管理が予後に大きな影響を与えることは周知の事実となってきた。疾患の多様性、年齢、併存疾患等の患者背景因子、さらに治療による影響などを考慮して栄養管理を行う必要がある。高血糖あるいは血糖値の変動が患者予後に大きく影響することが報告されている。各種栄養剤投与における、血糖値、血糖値の変動、インスリンの必要度、胃内残留時間、逆流や嘔吐、下痢などの副作用、ICUの滞在期間、経口摂取が可能となる期間等、多面的分析を行い、栄養成分の違いによる、有用性・安全性を検討していく予定である。

●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎は病院内で人工呼吸器を装着したことによって新たに罹患した肺炎であり、ICU入室患者の3から4%を占め、ICU内の院内感染で最も多く、致命率も50%前後と非常に高い疾患である。治療としては抗菌薬の投与となるが、その抗菌薬に対しては、静菌的でなく、殺菌性を有し、感受性が高く、耐性選択能の高いことが要求される。当院では、前述の特徴を有した新しい抗菌薬TR-701FAの試験を開始しており、その安全性および有効性を検証していく予定である。

●冬眠の低体温療法への応用をめざして

Hibernation protein complex (HP complex) に注目し、HP complex をラットの脳室内に投与することにより冬眠が実現できるか、その時のバイタルサインやその他の生体機能がどうなっているか、投与終了後は合併症なく覚醒するかどうかを調べる。この研究から、低体温療法に冬眠のメカニズムを取り入れ、より効果的で安全な低体温療法を開発することを目的とする。

キーワード

栄養管理、血糖コントロール、インスリン、人工呼吸器関連肺炎、TR-701FA、冬眠、低体温療法、HP complex、脳保護作用

特色等

●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者に対する各種栄養剤の選択に関して、疾患別あるいは併存合併症から、インスリン必要度、血糖値の推移の観点から調べたものではなく、重症患者の栄養に関して一石を投じる可能性がある。

本学の理念との関係

●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者と栄養について、その本質から考え直すきっかけにしたい。

●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎による死亡率はいまだに高く、その救命率を上昇させるきっかけにしたい。

●冬眠の低体温療法への応用をめざして

脳低体温療法で神経学的予後や生命予後が飛躍的に改善したり、心筋虚血やその他の臓器障害において、そのダメージを最小限にして救命率を上昇させたりということにも応用可能であると考え。高い倫理観のもと、医学発展に大きく貢献できると考えている。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2015～2015年分	2015年分	2015～2015年分	2015年分
和文原著論文	1	1	—	—
英文論文	ファーストオーサー	3	12.113 (12.113)	12.113 (12.113)
	コファーストオーサー	2	0 (0)	0 (0)
	その他	0	0 (0)	0 (0)
	合計	3	12.113 (12.113)	12.113 (12.113)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編纂・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1556001

Y. Matsuki, K. Takakura, K. Shigemi: General anesthesia and intraoperative opioids do not affect postoperative delirium in femoral neck surgery, *Anaesth Pain & Intensive Care*, 19(3), 372-375, 201507

1556002

Y. Matsuki, K. Takakura, K. Shigemi: A case of successful treatment with vasopressin for severe acute pancreatitis in a melancholic patient administrated antipsychotic agents, *Anaesth Pain & Intensive Care*, 20(1), 71-73, 201601 (症例報告)

1556003

Y. Matsuki, M. Iwamoto, K. Mita, K. Shigemi, S. Matsunaga, S. Oiki: Rectified proton conduction across a long water-wire in the test nano-tube of the polytheonamide B channel, *J Am Chem Soc*, 138(12), 4168-4177, 201603, DOI: 10.1021/jacs.5b13377, #12.113

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1556004

小畑 友里江, 吉原 達也, 重見 研司: ③ニトログリセリン: 森田 深, 川真田 樹人, 廣田 和美, 横山 正尚: 麻酔科医のための周術期の薬物使用法, 中山書店, 223-225, 20150515

1556005

小畑 友里江, 重見 研司: ④ニトロプルシド: 森田 深, 川真田 樹人, 廣田 和美, 横山 正尚: 麻酔科医のための周術期の薬物使用法, 中山書店, 226-228, 20150515

1556006

重見 研司: 外科手術と喘息: 喘息予防・管理ガイドライン2015, 265-268, 20150525

c. 編纂・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1556007

松木 悠佳, 石本 雅幸, 塩濱 恭子, 溝上 真樹, 重見 研司: プレガバリン内服に伴う副作用と危険因子の検討, 日本ペインクリニック学会誌, 22(2), 123-126, 201506

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

1556008

小畑 友里江: 親血的動脈圧モニター, オペナーシング 2015年秋増刊, 83-89, 201509

1556009

重見 研司: 歯科麻酔に必要な循環制御入門, 日本歯科麻酔学雑誌, 43(5), 623-629, 201510

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

1556010

K. Shimo, Y. Hayabuchi, K. Takakura, K. Shigemitsu: Effects of isoflurane and sevoflurane on norepinephrine-induced constriction in rat arteries to vital organs, Euroanaesthesia 2015, Berlin(Germany), 20150425

1556011

M. Mizogami, H. Tsuchiya, K. Shigemitsu: Additional value of anesthetic agents in the perioperative period: in vitro study of their common membrane interactivity associated with anti-oxidative effects, 3rd Singapore-Duke Conference, Suntec Singapore (Singapore), 20151114

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1556012

次田 佳代, 村上 剛, 北村 倫子, 重見 研司: 脳神経叢ブロック鎖骨上アプローチにおける局所麻酔薬アルカリ化効果の検討, 日本区域麻酔学会第2回学術集会, 群馬大学(高崎市), 20150425

1556013

DK. Kayenbe, Y. Obata, M. Hayabuchi, A. Takaku, T. Hamada, K. Okafuji, K. Shigemitsu: End-systolic left ventricular elastance(Ees) was estimated with Ecavi, 第36回日本循環制御医学会総会, ウィンクあいち(名古屋市), 20150606

d. 一般講演（ポスター）

1556014

安田 善一, 佐上 祐介, 小畑 友里江, 木下 義和, 重見 研司: 冬眠タンパク質 Hibernation Protein Complex (HP Complex) 合成の試み, 日本麻酔科学会第62回学術集会, ポートピアホテル(神戸市), 20150528

1556015

神澤 聖一, 高倉 康, 中西 侑子, 早濑 光代, 上田 雅史, 重見 研司: 大動脈部位による血管反応の相違, 日本麻酔科学会第62回学術集会, 国際展示場(神戸市), 20150529

1556016

松木 悠佳, 溝上 真樹, 村上 剛, 重見 研司, 土屋 博紀: デクスメトミジンの機序的膜作用: 膜脂質二重層との相互作用特性, 日本麻酔科学会第62回学術集会, 国際展示場(神戸市), 20150529

1556017

下 弘一, 藤岡 沙織, 早濑 由朗, 伊佐田 哲朗, 高倉 康, 重見 研司: イソフルランによるラットの種々動脈におけるノルエピネフリン反応性変化の検討, 日本麻酔科学会第62回学術集会, 国際展示場(神戸市), 20150529

1556018

松木 悠佳, 塩濱 恭子, 溝上 真樹, 重見 研司: デュロキシセチンの鎮痛効果における初診時間診の検討, 日本ペインクリニック学会第49回大会, グランフロント大阪(大阪市), 20150723

1556019

藤岡 沙織, 下 弘一, 早濑 由朗, 高倉 康, 重見 研司: 脊髄腫瘍を合併した妊婦に対する帝王切開術の麻酔経験, 日本臨床麻酔学会第35回大会, パシフィコ横浜(横浜市), 20151022

1556020

DK. Kayenbe, T. Isada, Y. Obata, M. Hayabuchi, K. Shigemitsu: Evaluation of End-systolic left ventricular elastance(Ees) using Ecavi in preoperative patients, 日本臨床麻酔学会第35回大会, パシフィコ横浜(横浜市), 20151022

1556021

松木 悠佳, 長田 理, 神澤 聖一, 佐上 祐介, 重見 研司: 初期臨床研修医指導における麻酔支援システムの有用性, 日本臨床麻酔学会第35回大会, パシフィコ横浜(横浜市), 20151022

1556022

神澤 聖一, 上田 雅史, 田畑 麻里, 関 久美子, 重見 研司: 股関節置換術後に心アミロイドーシスによる心停止を起こした1症例, 日本臨床麻酔学会第35回大会, パシフィコ横浜(横浜市), 20151023

1556023

松木 悠佳, 佐上 祐介, 小畑 友里江, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: 妊娠中に特発性肺動脈性肺高血圧症が顕在化した救命できなかった1例, 第43回日本集中治療医学会学術集会, 神戸国際展示場(神戸市), 20160214

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1556024

溝上 真樹, 松木 悠佳, 塩濱 恭子, 藤岡 沙織, 松田 修子, 重見 研司: 非特異的腰痛に対し棘間靭帯への高周波熱凝固法が奏効した1症例, 東海北陸ペインクリニック学会第23回北陸地方会, 富山大学附属病院(富山市), 20160306

d. 一般講演（ポスター）

1556025

松木 悠佳, 佐上 祐介, 小畑 友里江, 安田 善一, 重見 研司: パソプレッショントラップとPMX-DHPが有効であった敗血症性ショックを伴った重症急性膵炎の1例, 第23回日本集中治療医学会東海北陸地方会総会・学術集会, ザ・グランユアーズフクイ(福井市), 20150620

1556026

前田 夢吉, 安田 善一, 小畑 友里江, 重見 研司: 遠位型ミオパチー患者の歯科治療に対する周術期管理経験, 日本麻酔科学会東海・北陸支部第13回学術集会, 名古屋国際会議場(名古屋市), 20150905

1556027

佐上 祐介, 松木 悠佳, 神澤 聖一, 早濑 光代, 重見 研司: 神経線維腫症1型による水頭症と突発性血小板減少性紫斑病を合併した帝王切開術の麻酔経験, 日本麻酔科学会東海・北陸支部第13回学術集会, 名古屋国際会議場(名古屋市), 20150905

1556028

松田 修子, 伊佐田 哲朗, 齊藤 律子, 重見 研司: 過去にスガマデクスアナフィラキシーを発症した症例に再度全身麻酔管理を行った1例, 日本麻酔科学会東海・北陸支部第13回学術集会, 名古屋国際会議場(名古屋市), 20150905

1556029

中西 侑子, 上田 雅史, 溝上 真樹, 重見 研司: 医療画像管理システム(OTIS)の有用性と問題点, 日本麻酔科学会東海・北陸支部第13回学術集会, 名古屋国際会議場(名古屋市), 20150905

e. 一般講演

f. その他

業績一覧

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1556030 重見 研司: 血中濃度を予想した麻酔の利点と問題点, Neuromuscular Meeting in 三重(第4回), ベイシスカ(津市), 20151219

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演(口演)

1556031 佐上 祐介, 藤林 哲男, 安田 善一, 重見 研司: 腎機能障害患者におけるリコモジュリン投与量についての検討, 第4回集中治療ミーティング福井, 福井商工会議所(福井市), 20150918

1556032 松木 悠佳, 神澤 聖一, 塩濱 恭子, 安田 善一, 溝上 真樹, 高倉 康, 重見 研司: ロクロニウムの使用でBIS値が低下した症例, 第5回北陸麻酔・集中治療研究会, 金沢都ホテル(金沢市), 20150704

1556033 松木 悠佳, 佐上 祐介, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: 重症急性肺炎に対してPMMA-CHDFを施行した2症例, 第19回北陸急性血液浄化療法談話会, 金沢都ホテル(金沢市), 20151205

1556034 DK. Kayenbe, T. Isada, K. Shigemi: Left ventricular end-systolic elastance(Ees) estimated with CAVI, Changing Practice of Anesthesia 2016 in Fukui, 福井大学病院(吉田郡), 20160123

d. 一般講演(ポスター)

1556035 Y. Obata, T. Shishido, A. Takaku, DK. Kayenbe, T. Hamada, K. Shigemi: Noninvasive estimation of left ventricular aortic coupling in human, HAKATA Cardiovascular Conference 2015, 九州大学(福岡市), 20150530

1556036 DK. Kayenbe, Y. Obata, M. Hayabuchi, A. Takaku, T. Hamada, K. Okafuji, K. Shigemi: End-systolic left ventricular elastance(Ees) was estimated with Ecavi which is the product of Ees/Ea and CAVI, HAKATA Cardiovascular Conference 2015, 九州大学(福岡市), 20150530

e. 一般講演

1556037 重見 研司: 従来のモニタ機器を利用した左心室大動脈結合状態の推定方法, 中部地区医療・バイオサイエンス発表会, 名古屋市中企業振興会館(名古屋市), 20160203

f. その他

1556038 重見 研司: 全身麻酔支援システムの開発, 福井大学新技術説明会, 科学技術振興機構ホール(東京都), 20150901

(C) 特許等

区分	内容(発明の名称)	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
----	---------	-------	------	------	--------	---------

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
----	------	-----	------	------	--------	---------

(B) 奨学寄附金

受入件数	1
受入金額	300000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	第6回福井県痛みを考える会	藤林 哲男

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他